

古川下水ポンプ場の供用を開始しました － 浸水安全度向上に向けた取組を推進 －

堺市では、近年の激甚化する大雨による浸水被害から市民の生命と財産を守るため、地盤の低い地域から雨水を汲み上げ海に排出する機能を有する古川下水ポンプ場の建設を進めてきました。

このたび、約 10 年の工事期間を経て古川下水ポンプ場が完成し、令和 7 年 4 月から供用を開始しました。

古川下水ポンプ場の供用開始により、本市が浸水対策として重点的に進めている浸水危険解消重点地区を含む、堺区内の約 273 ヘクタールの区域の浸水安全度が向上します。加えて、老朽化が進む既存の 2 つの下水ポンプ場との統廃合により、既存施設の課題であった施設の耐震性や津波、高潮に対する耐水性を確保し、市民の皆様の安全と安心につなげます。

また古川下水ポンプ場の供用開始を記念し、以下のとおり供用開始記念式典を開催します。

1 名称

古川下水ポンプ場

2 所在地

堺市堺区神南辺町地内

3 概要

総事業費：約 390 億円

規 模：61.85 メートル×73.70 メートル（面積：4,558m²、深さ：30.18m）

構 造：地下 4 階、地上 3 階（鉄筋コンクリート造）

能 力：雨水ポンプ揚水能力 約 2,100m³/分



4 供用開始記念式典

日 時：令和 7 年 4 月 26 日（土）午前 10 時～午前 11 時 10 分

出席者：堺市長、堺市議会議員、市議会議員、国土交通省大臣官房上下水道審議官、

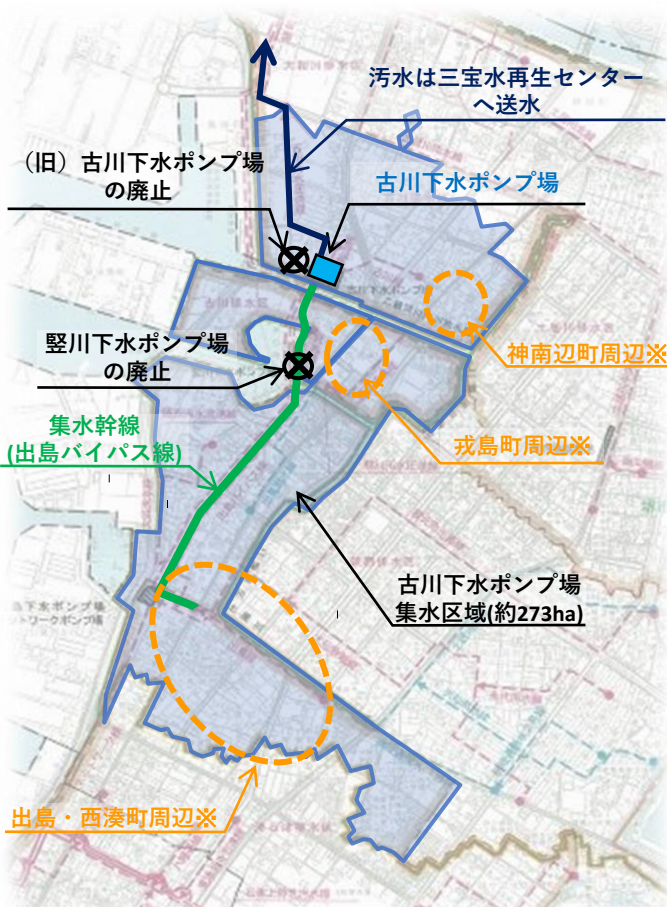
堺区自治連合協議会会長、三宝校区自治連合町会会長等地元関係者、

日本下水道事業団・工事関係者 ほか

内 容：主催者挨拶、来賓挨拶、施設紹介、テープカット

その他：式典は、一般の方はご参加いただけませんので予めご了承ください。

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：上下水道局 下水道施設部 下水道施設課 電 話：072-229-1725 ファックス：072-229-1800
----------------------------	---

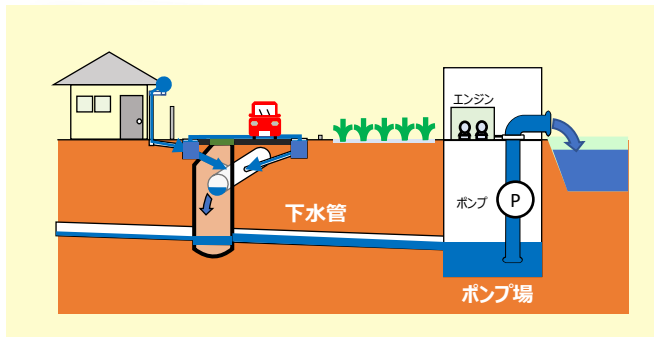


※過去の浸水実績等から選定した浸水危険解消重点地区

事業概要

ポンプ場の機能・役割

ポンプ場は、下水管にて地下深くに集められた雨水をポンプで汲み上げて海や河川へ放流し、まちの浸水を防ぎます。



整備効果

① 浸水安全度の向上

過去の浸水実績等から選定した浸水危険解消重点地区のうち、**堺区神南辺町周辺、戎島町周辺、出島・西湊町周辺**の3地区を含む約273haの浸水安全度の向上を目的としています。

② 老朽施設の統廃合

老朽化が進行した**縦川下水ポンプ場**と**(旧) 古川下水ポンプ場**の2つのポンプ場を廃止し、新ポンプ場に統合することにより、効率的に施設を更新します。

③ 施設の強靱化

新ポンプ場は、高い確率で発生が危惧される南海トラフ地震等に対応した耐震性及び耐水性（津波・高潮）を備えています。

事業期間

平成26年～令和7年（ポンプ供用開始は令和7年4月）

全体事業費

約390億円

施設概要

概要

- 平面規模：
61.85m×73.70m
- 面積：4,558m²
- 深さ：30.18m
- 地下4階 地上：3階
- 構造：鉄筋コンクリート造

主要施設

- 汚水沈砂池
2.5mW×13mL×8.8m深 2池
- 雨水沈砂池
4.7mW×27.5mL×8.7m深 1池
- 6.2mW×27.5mL×8.7m深 4池

ポンプ能力

雨水 φ1,200mm × 199m³/分 1台
φ1,800mm × 468m³/分 4台

汚水 φ400mm × 20m³/分 2台
φ600mm × 38.5m³/分 2台（内1台予備）

合計 **約2,100m³/分**

1分間に**25mプール約4杯分**の水を排出できる能力

